

さとし

議会だより

No.114

2023.10.31



岡山県 里庄町議会



久しぶりに盛り上がる秋祭り(天満神社)

- 9月定例会 令和4年度決算……………(2)
- 令和5年度補正予算……………(8)
- 委員会 陳情・発議……………(9)
- 町政を問う!(8人が登壇)……………(11)
- シリーズ こんな活動をしています(里庄町文化協会 陶芸部)……………(20)

全会一致で認定

目的別歳出状況

民生費	16億5273万円	構成比(%) 29.5	消防費	3億910万円	構成比(%) 5.5
総務費	13億3328万円	23.8	農林水産業費	1億2827万円	2.3
土木費	6億5338万円	11.6	議会費	6865万円	1.2
衛生費	5億3456万円	9.5	商工費	3576万円	0.6
教育費	5億1430万円	9.2	災害復旧費	319万円	0.1
公債費	3億7377万円	6.7			

※上記は普通会計で、一般会計と合計額は違います

9月

定例会

令和5年第5回定例会は9月1日から15日での15日間の会期で行われました。議案は、令和5年度補正予算8件、令和4年度決算9件、人事案件1件が上程され、すべて原案通り可決・認定・同意されました。また、報告2件、陳情1件がありました。

補正予算及び令和4年度決算については予算決算委員会に付託され、陳情については総務文教委員会に付託され審査を行いました。また、議員発議1件があり、可決されました。

なお、一般質問には8人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

人事

里庄町教育委員会委員
任命

里庄大字新庄

藤井 幸治氏

9月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	59億5284万円	(4億8033万円)
国民健康保険特別	10億5895万円	(△258万円)
介護老人保健施設特別	3358万円	(357万円)
介護保険特別	12億8026万円	(3037万円)
後期高齢者医療特別	1億8875万円	(14万円)
町営墓地特別	691万円	(5万円)
水道事業会計		
収益的支出	2億6762万円	(△535万円)
資本的支出	1億4606万円	(3万円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	4億1296万円	(△127万円)
収益的支出	3億6946万円	(△244万円)
資本的収入	3億8722万円	(△7万円)
資本的支出	5億7589万円	(109万円)

令和4年度
決算

一般会計歳出

56億1676万円

令和5年度各会計補正予算も全会一致で可決



夢に向かって(ロボットコンテスト)

町の借金と貯金(令和4年度の状況)

令和4年度起債額(借金)

3億3633万円

一般会計の基金(貯金総額)

28億328万円

一般会計

2億1793万円

財政調整基金

12億4685万円

下水道事業会計

1億1840万円

いきいき里庄基金

1億円

令和4年度公債費(元利償還金)

5億4565万円

地域振興基金

5893万円

一般会計

3億5916万円

開発基金

2億5335万円

下水道事業会計

313万円

減債基金

1億8698万円

下水道事業会計

1億8335万円

ふるさと保全基金

6600万円

令和4年度末起債残高(元金)

70億2292万円

文化振興基金

3億8723万円

一般会計

36億1434万円

スポーツ振興基金

1億100万円

水道事業会計

715万円

教育施設整備改修基金

2億3598万円

下水道事業会計

34億143万円

土地開発基金

1億302万円

下水道事業会計

34億143万円

環境整基金

5039万円

下水道事業会計

34億143万円

古山基金

1008万円

※起債残高のうち、概算40・6億円が地方交付税に算入される見込み。

森林環境譲与税基金

343万円

令和4年度

次のような事業を行いました

【民生費】

- | | | |
|------------|----------|-----------------------|
| ◆児童手当事業 | 1億8391万円 | 0～15歳を対象に交付 |
| ◆保育園施設給付事業 | 3億3822万円 | 町内の2園に給付 |
| ◆小児医療費助成事業 | 5808万円 | 高校卒業まで無償に引き上げました |
| ◆児童発達支援事業 | 9919万円 | 児童発達支援、放課後等デイサービス支援など |

【衛生費】

- | | | |
|-------------------------------|--------|----------------------------|
| ◆予防接種事業 | 3392万円 | インフルエンザなど |
| ◆伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業 | 953万円 | 令和4年4月1日以降に出生した人に計10万円給付など |



【総務費】

- | | | |
|-------------|----------|------------------------------------|
| ◆ふるさと納税事業 | 1億9963万円 | ふるさと納税返礼事業委託料
(寄付額4億2959万円) |
| ◆地域暮らし応援券事業 | 9301万円 | 長引くコロナ禍で家計と地域経済支援のため
全町民に応援券を配布 |

【土木費】

- | | | |
|---------------|----------|--------------------------------|
| ◆道路維持一般経費 | 2389万円 | 道路小修繕、舗装等修繕など |
| ◆道路新設改良工事 | 2億5165万円 | 道路の新設・改良・用地購入など
(松尾・金山地区など) |
| ◆狭あい道路整備等促進事業 | 5737万円 | 町内7か所の狭あい道路を整備 |

【消防費】

- | | | |
|-----------|--------|--------------|
| ◆消防機庫新設事業 | 2755万円 | 消防機庫の新設(第7部) |
|-----------|--------|--------------|



令和 4 年度

決算

令和 4 年度決算に対する総
括質疑は 4 人が行い、予算決
算委員会に付託されました。

総括質疑

抑制の中で行政サービスは

眞野議員 令和 4 年度一

般会計の単年度収支額と、
実質単年度収支額はそれ
ぞれいくらか。

総務課長 単年度収支額
は 8364 万円。

実質単年度収支額は、
2 億 3946 万円。

眞野議員 基金残高が、

4 年間で 5 億 7779 万
円増えた理由は。

総務課長 地方消費税交
付金と普通交付税の増額
また、ふるさとづくり寄

附金の大幅な増額などに
より歳入増となった。

新型コロナウイルス感
染症の影響により各種事

業の中止等に伴う歳出抑
制に加え、基金を大きく

取り崩すことなく行財政
運営に努めた結果である。

眞野議員 基金は合計で

1 億 5273 万円積み立
てているが、行き届いた

行政サービスはその歳出
の抑制の中でできたのか。

町長 小児医療費の対

象を 18 歳まで拡充した。
幼稚園、小・中学校へ

の生活支援員の配置、高
齢者タクシー料金助成事

業の拡充、また新型コロナ
ウイルス感染症に対応

した各種事業を実施した。
町民が住みやすさを実

感できるように福祉の増
進やサービスの向上を念

頭に事業を実施した。

眞野議員 令和 4 年度末

の借金の状況は。

総務課長 町債の残高は、
令和 3 年度末時点の 37 億
5557 万円から元金償
還額の 3 億 5916 万円

を差し引きし、令和 4 年
度で新たに起こした町債
2 億 1793 万円を追加
し、36 億 1434 万円。

眞野議員 公共下水道事

業会計について、預金と
借金の状況と一般会計か

らの繰入金の説明を。

上下水道課長 現金預金
3 億 3913 万円、起債
残高 34 億 142 万円。

財源不足を一般会計か
らの繰入金で賄っている

のが現状。

町財政見通しを踏まえ、
平成 27 年度から事業ペー

スを落とし整備を進めて
いるが、元利償還がピー

クである令和 10 年度まで
徐々に増加する。

その後、交付税算入も
あり実質の一般会計から

の持ち出し分は徐々に減
少していく。

眞野議員 公共財産の土

地及び建物で、増減した
部分の目的や理由を。

総務課長 駐車場確保と
して役場南側駐車場用地

の購入、本村地区の消防
団第 7 部消防機庫建設に
より増加している。

高岡公会堂用地を普通
財産から行政財産へ振り

替えたなどが主な要因で
ある。

山林については、国土
調査の成果による増とな

っている。

眞野議員 町が所有して

いる土地や建物で利活用
できるところがなかった

のか。

総務課長 宅地など町有

地の一部は町内の個人や
団体、企業などと賃貸借

契約を結ぶなど、有効に
活用できている。

今後、町が所有する土
地、建物については、留

保すべき財産を精査し、
活用方法を考える。

利用する見込みのない
土地などは売却や貸付け

を促進し、維持管理費の
削減を図るとともに、財

産収入の確保に積極的に
取り組んでいく。



一致団結(スポーツ交流大会)

分館要望が聞けてない

佐藤議員 実質的将来財政比率を算出するための

地方債残高、債務負担行為額、標準財政規模は、

総務課長 地方債残高は36億1434万円。

債務負担行為に基づく今後の支出予定額は、1842万円。

標準財政規模は31億9856万円。

将来負担比率はマイナス68・7%となり、将来負担より貯蓄の方が多い。

佐藤議員 物価高騰対策

事業は300社に対する支援としての予算4000万円を組んだが、半分以上使っていない。

状況は。

企画商工課長 申請件数は128件で、不用額は

生じた。

佐藤議員 基金も増えているが、分館とかの要望が聞けてないのでは。

総務課長 新型コロナウイルスの影響や偶発的な要素が重なった結果であり、財政状況が大きく好転したわけではない。

今後、バランスを取りながら歳出を今ぐらいに抑えつつ、基金を増やしていけないと、大型事業に対応できないと考えている。

佐藤議員 要望があれば、その課にもっと予算をつけるという考えは、

町長 大きな効果が得られるようなこと、地域の安全を確保できること

については、優先順位が高く、予算配分している。地域住民の声をしっかりと聴きながら、予算配分をして実施していく。

予算の積算が甘い

仁科千議員 経常収支比率、公債費比率が共に増加したのはなぜか。

総務課長 歳入では地方

税収入、普通交付税は増加したが、臨時財政対策債は1億6000万円の大幅な減少。

歳出では新たに償還が始まった町債の償還金が増加。

仁科千議員 令和4年度はコロナ禍によるイベント中止が多かったが、令和5年度はどうなるのか。

総務課長 これまで中止になった事業も実施し、それに伴って歳出も増加していくと考えている。

今後の見通しは、税收の大幅な増額も見込めず、

扶助費、人件費、公債費の増加など将来的な義務的経費の増加による財政硬直化の加速を懸念している。

今後もより厳しい財政運営を強いられると考えている。

仁科千議員 経常収支比率、公債費比率を減少させるためにはどうすればいいのか。

総務課長 税收を増やし、支出を極力減らしていくこと。

この率を出す中で臨時財政対策債の減額が大きいため、実際の決算状況より率が悪くなっている。

仁科千議員 不用額が大きいが、予算の積算の甘さがなかったのか。

総務課長 適正な事業の執行や事業のスリム化、

効率化、入札において落札率が下がったことなどが大きく影響し、結果として経費削減につながり不用額を計上することになった。

予算の積算時には職員一人一人が厳しい財政見通しとなっていることを念頭に置きつつ、費用対効果、財政負担、国や県の補助金などの財源確保に務める。

また、経常的な経費についても一般財源を増加させないように意識した予算を精査したうえで計上している。

地域の要望に予算を

仁科英議員 企業会計とその他の特別会計全体で、借金と貯金の収支はどうなっているのか。

総務課長 一般会計の基金残高28億328万円に各特別会計の基金残高預金、各企業会計の現金預金など合計すると、45億5086万円となる。

起債残高では一般会計36億1400万円、水道下水道の各企業会計の起債残高合計70億2292万円。起債残高のうち、かなりの部分が地方交付税に算入される見込。

結果、実質的に起債残高が基金残高を下回っている。

おり、健全な状態を維持できている。

特別会計を除く一般会計、上下水道の会計では最終的に4億円を超えるプラスになる。

仁科英議員 道路維持補修費2200万円は、要望に対して、どの程度実施したのか。

農林建設課長 補修改修、交通安全施設の要望など211件の要望があり、そのうち133件を実施した。

仁科英議員 町長は効果

があるものは優先してやると言っているが、町長から見れば効果は少ないが、小水路、道、草刈りなど、地域で年に何回かしているが、出る人も減っており、町民には大きな負担。

地域の要望に、予算を組んでもらいたい、町長答弁を。

町長 確かに財政的にはある程度安心はあるかもしれないが、決して樂觀はできないと考えている。事業をやれば義務的な経費は増えていく。

歳入は、税金と限られているので、分館の要望もあるが、できるだけ地元でしてほしいというのが基本的な考え。事業の効果が広く及ぶものや、住民生活に直結している所は、できるだけ優先的にやりたい。

視察・研修



視察受入

10月11日(水)

「つばきの丘運動公園を視察」

山口県の和木町議会から議員10人事務局2人の計12人が里庄つばきの丘運動公園の視察に訪れました。建設課長から説明があり、公園全体の費用・管理方法・利用状況など質問がありました。

その後、公園が町民の交流の場として、より利用しやすい安全な場所になるよう意見交換をしながら、現地の視察を行いました。



広報研修会

9月26日(火)

「東京都の日経ホールにて町村議会広報研修会に参加」

1部の「広報担当者が知っておきたい法律知識」では、取り扱う写真やイラストの著作権・肖像権などの知識を学びました。

2部の「読者を夢中にさせる広報紙づくり基礎の基礎」では、広報紙内のコンテンツの見出しの分かりやすさだけでなく、印象深く伝えることの重要性を学びました。

3部の「やってはいけないデザイン講座」では、読んでもらうためのターゲットの選定や文字の配置構成、写真などを使い見やすくわかりやすいレイアウトの組み方を学びました。

これからの議会広報編集に向けて、各自がステップアップし、さらなる向上心に熱が入る研修会でした。



令和5年度

補正

令和5年度補正予算8件は、予算決算委員会では審査し、すべて原案通り可決されました。

一般会計補正予算主な事業

質疑

東小学校駐車場用地取得

1594万円

東小学校東側へ駐車場を作るための用地を取得します。

基金積立金

4億5481万円

財政調整基金

2億6481万円

減債基金 3000万円

開発基金 1億円

教育施設整備改修基金

6000万円

以上の基金に積み立てます。

コミュニティ事業

150万円

公会堂整備事業として当初200万円の予算のうち、現在まで5件197万円の申請がありました。

今後急遽の要望に備えるためのものです。

基金積立は

仁科英議員 財政調整基金積立金2億6481万円とあるが、どのような計算で出たのか。

総務課長 普通会計の実質収支4億6632万円の2分の1である2億3316万円と新型コロナウイルススワクチン接種補助金などの今後返還する予定の4710万円を加え、東小学校の駐車場用地取得1594万円を引いたもので、その後、50万円ほど端数調整をした。

仁科英議員 令和4年度とそれ以前の新しい焼却施設環境整備事業負担金の額と内容は。

町民課長 令和4年度は道路整備に4333万円、下水道整備に176万円、合計4509万円。

令和3年度は、道路整備に959万円、下水道整備に1727万円、合計2686万円。

令和2年度以前は、負担金は発生していない。

仁科英議員 令和4年から5年の元利償還の繰越金の中に、道路事業分と上下水道事業分は、それぞれいくら入っているのか。

農林建設課長 道路事業分については繰り越している額などはない。

令和4年度の繰越から元利償還などは始まるので、今現在工事のため、確実な金額は回答できない。

上下水道課長 翌年度への繰越額は2億281万、そのうち財源内訳は、国庫補助金4043万円、起債9640万円、繰越工事資金6598万円、不用額590万円。

山火事に備えて(里庄町消防団)

— 8 —

里庄町議会だより No.114

予算決算委員会

9月8日、11日、12日の3日間にわたり、関係当局の説明を聴取しました。

令和5年度一般会計補正予算では、東小学校駐車場用地取得についての意見などがあり、8議案についてすべて全会一致で原案を可決すべきものと決しました。

令和4年度里庄町一般会計決算では、予算が議決した趣旨と目的に従って、適正かつ効果的に執行されたか、また、行政効果が発揮されたかなど慎重に審査を行いました。

多額の不用額が発生している理由の説明があり、また、駅裏の東西駐車場の赤字を出し続けていることから、運営方法の見直しを求める意見が出されました。

採決の結果、9議案とも全会一致で認定すべきものと決しました。

陳 情

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について」は採択

採択 2 : 1 継続審査

請願主旨

子どもたちの豊かな学び、学校の働き方改革を実現するためには少人数学級の早期実現とともに教職員の定数改善が不可欠。

全国多くの自治体が独自財源により人的措置などを行っているが、自治体間の教育格差を生じさせてはならない。

総務文教委員会審査

9月7日委員会を開催し、慎重に審査をしました。教職員定数改善に向けて取り組みを進めると文部科学大臣が明言しているので反対する理由がない。望ましいので賛成である。国全体の問題なので継続的に審査すべきであると意見が出ました。

以上を踏まえた結果、採択すべきものと決しました。

発 議

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げに係る意見書」は賛成多数で可決

賛 成 7 : 1 反 対



賛否表

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ―…本人議案のため賛否に加わりません

賛否表

議案名		議員名	平野敏弘	岡村咲津紀	眞野博文	仁科英麿	仁科千鶴子	佐藤耕三	田辺博樹	難波啓祐	岡本貴之	議決結果
定例会 9月	議案第47号	令和5年度里庄町一般会計補正予算(第4号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第48号	和5年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第49号	令和5年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算(第1号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第50号	令和5年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第1号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第51号	令和5年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第52号	令和5年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第2号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第53号	令和5年度里庄町水道事業会計補正予算(第1号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第54号	令和5年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第55号	令和4年度里庄町一般会計決算の認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第56号	令和4年度里庄町国民健康保険特別会計決算の認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第57号	令和4年度里庄町介護老人保健施設特別会計決算の認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第58号	令和4年度里庄町育英奨学資金給与特別会計決算の認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第59号	令和4年度里庄町介護保険特別会計決算の認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第60号	令和4年度里庄町後期高齢者医療特別会計決算の認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第61号	令和4年度里庄町営墓地特別会計決算の認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第62号	令和4年度里庄町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第63号	令和4年度里庄町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第64号	教育委員会委員の任命	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	報告第5号	令和4年度里庄町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告	報告のみ									
	報告第6号	令和4年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告										
	陳情第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	採択
	発議第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げに係る意見書案	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	可決

注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)



はっけよ〜い、のこった！

8人の議員が登壇して質問!

岡本 貴之 議員.....12P

- ① 小中学生に登下校時の日傘を

眞野 博文 議員.....13P

- ① 子育てにやさしい、里庄町は
- ② 当町の空き家対策

佐藤 耕三 議員.....14P

- ① 中学校におけるジェンダー平等を
- ② マイナンバーについて

岡村 咲津紀 議員.....15P

- ① 不登校防止への取組み

仁科 英麿 議員.....16P

- ① 科学少年少女1名に対する進学祝い金寄付金30万円の受入れ(2回目)
- ② 里庄東小学校南東の角にある信号機の存続など
- ③ 本村から、土井、林地区を通して、備南街道に抜ける都市計画ルートの新設など
- ④ マイナンバーカードと健康保険証や運転免許証を一体化することへの反対

田辺 博樹 議員.....17P

- ① 地方自治法第94条の適用は
- ② 都市計画は
- ③ コロナワクチンの副作用による死亡問題は

難波 啓祐 議員.....18P

- ① 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成を
- ② 行政におけるドローンの活用を

仁科 千鶴子 議員.....19P

- ① 各分館に憩い場所である公園を
- ② 保育園入園条件点数とは

9月定例会

一般
質問

町
政
を
問
う

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

小中学生に日傘の配布を

教委事務局長／慎重に検討したい



岡本 貴之 議員

責任問題については、ここでは言えないが、子どもたちが元気で安全に過ごしていくために精いっぱい努力をしていかなければいけない。

また、対策も取っていないかなければいけないというところは責任として考えている。

全国では熱中症で子どもが死亡する事故が発生

するなど記録的な猛暑が続いており、8月も下旬になれば猛暑のピークを過ぎていくのが普通だが、今年も一向に衰える気配がなく、30度を超える日々が続いている。

問

小・中学生の登下校時の日傘の使用についてどう思うか。

教委事務局長

学校・園での熱中症対策においては、各校・園に熱中症指数計や熱中症計を導入している。適宜、指数を確認しながら教育活動を行っている。熱中症警戒アラートが発表されているときや暑さ指数が31を超えているときにも運動

を取りやめている。

小・中学校の登下校時にも日差しが強い日が多く、子ども達や保護者に熱中症対策への協力と指導を行っている。登下校時には、日傘を使用することについては、強い日差しから身を守ることに

関して有効な手段の一つであると考えている。

今年度、1学期の様子では、毎日、約10名程度の子どもが日傘を差して登下校していた。日傘以外にも、首周りに冷却タオルを巻いたり、冷却リングをつけたりして登下校する子供もいた。水分補給も適宜行うようにしている。

問

小・中学校の生徒全員に雨が降っても晴れの日でも使える晴雨兼用傘の配布を行うてはどうか。

教委事務局長

今は日傘の配布を行うことについては考えていない。

現在、保護者は子どもに合った熱中症対策を工夫して行っている。

仮に小・中学生全員に配布を行っても、使う子どもが使わない子どもが出てくると思われるから配布については、今後、慎重に検討したい。

問

日傘の配布を行わない理由として「使用する子どもがいる、いない」とあると思うが、晴雨兼用傘を配布せず登下校時に熱中症になった場合の責任問題についてはどう思うか。

教育長

子どもたち一人一人、本当にかげがえのない大事な子どもたちなので、安全面を含めて大事にしていきたいと思っている。

ただ、この日傘だけのことについて言えばせっかく配っても、多くの子どもが使わない場合も想定されるので、状況も今後見ながら対応を考えていきたい。



日傘があれば大丈夫

眞野 博文 議員



保育士不足、今後の対応は

町長／できる手立ては打つ

問

町内の保育園の現在の状況はどうなっているのか。

入園条件は厳しいのか。保育士不足のため、両園とも定員より少ない受入れ人数となっている。

必要性の高い方から優先順位を決定。

問

保育士不足解決に向けてどのようなことをしているのか。

健康福祉課 参事 保育士就職支援金制度を設けた。

保育園に勤務する保育士のお子さんは、最優先で入所できる。また、町内在住であれば保育料は免除する。

保育士の処遇改善の推進は、県を通じて国へ要望。

保育士業務の負担軽減のためのICT化の推進は、7月に先進保育所の視察を実施した。求人情報の掲載を町の広報紙、ホームページに加え、岡山県の保育士・

保育所支援センターに依頼。

問

学校などに勧誘のために出向いたのか。

健康福祉課 参事 県内の大学2校へ町長、健康福祉課職員、町内保育園の保育士の方と一緒に訪問。

そのほか、町内保育園への就職実績のある大学、短大6校へ健康福祉課職員で協力をお願いに伺った。

問

今後、町はどのような対応を考えているのか。

健康福祉課 参事 保育実習期間の交通費助成や家賃の補助について引き続き研究をしていく。

町長

一時的な処遇改善策でなく、保育園に対する措置費を抜本的に値上げする必要がある。町として、国の制度、県とも相談し、できる手だては打っていききたい。

専門知識を

なにて補うのか

まち整備課長／アドバイスをもらう

問

空き家情報バンク制度の現在の状況は。

まち整備課 課長 制度に関する問合せが1件、物件の登録の申請が1件あった。

問

業者との媒介契約を専任媒介契約と専属専任媒介契約に限定しているのは、なぜなのか。

まち整備課 課長 岡山県空き家情報流通システムを利用するのが条件になっている。

問

登録しても何もしてくれない業者の場合のサポートは。

まち整備課 課長 業者と合う、合わないなど、いろいろなことが考えられる。別の業者へ変わるなどの方法もあると伝え、サポートしていく。

問

周辺の地域情報を熟知して既に買いたい人を知っている可能性はある地元の業者との情報共有は。

まち整備課 課長 町内の業者の問合せがあれば、伝える。

問

専門知識をどこで、なにて補うのか。

まち整備課 課長 制度の運用面で、不明な点などは、不動産サポートセンターなどに適宜問合せをして

問

地域住民、あと建築業、不動産、農地関係者などと協力や連携を考えているのか。

まち整備課 課長 日頃から連携機関とコンタクトを取り、相談があれば適切に紹介ができるようにしたい。

問

空き家を適正に管理するよう指導することはできないのか。

まち整備課 課長 適正に管理をしてください、と伝えていきたいと考えている。

女子トイレ生理用品設置を

教育長／今は必要ない



佐藤 耕三 議員

問

以前、中学生女子の制服をスカートとズボンの選択については、学校現場でふさわしいものを決めていくのがいいと、回答したが、その後どうなったのか。

教委事務局長

生徒や保護者から要望はないので現在は実施していない。

問

浅口市は今年、笠岡も来年から、上はブレザー、下はズボン・スカートを选べるようになってる。制服の見直しを求めるが、どうか。

教委事務局長

他市町の情報収集を継続しながら、慎重に研究していく。

問

後楽館高校女子生徒3人による、女子トイレに生理用品を置く陳情を、県議会の文教委員会は全会一致で採択した。これを機に浅口市では中学校の女子トイレに生理用品を置くことになった。

各女子トイレへ生理用品を置く考えは。

教委事務局長

保健室に常備し、その都度生徒の要望に対応している状況。生理用品の貧困問題などがあるので今後、さらに気軽に利用できる環境をつくっていきたく考えている。

問

トイレットパーパーが全てのトイレに設置されてるのは当然のことと考えれば、生理用品は女子トイレにあつて当然である。

当然のことをやつてもらいたいと思うがどうか。

教育長

実態として、今の必要性は感じていない。生徒からもそういった声を聞いたことはなく、保健室へは僅かだが取りに来ることはある。

トイレに置くことも一つの方法だが、衛生面も含め今は必要ない。

ただ今後ジェンダーフリーということを考えれば、検討していく必要があると思う。

廃止を国へ求める考えは

町長／現在はない

問

マイナンバーカードと保険証の一体化、保険証の廃止によって様々な問題が発生している。今、発生している問題を町はどの程度把握しているのか。

総務課長

紐づけの誤りや資格情報が確認できないなど問題がある。今後考えられる問題などの想定はしていない。

問

町内の病院でトラブルはあったのか。

町民課長

町内でのトラブルは把握していない。

問

誤ったコンビニでの交付、マイナンバーの紐づけは総点検の中に含まれるのか。

総務課長

今回の総点検にそのことは含まれていない。

問

町はマイナンバーカードの事務負担がやや重いと回答し

問

町民にとって保険証の一体化はどんなメリットがあるのか。

総務課長

住所変更手続のオンラインの更新講習ができること。

また、免許証を持っていない人でも確実な本人確認ができるなど。

問

マイナンバーの紐づけは当初、社会保障や税の中の申請だけ。問題が多い中利便性は強調し危険性は一言も言わない。

町長は保険証廃止の中止、延期を国に求める考えはあるのか。

町長

国に求める考えはない。

岡村咲津紀

議員



不登校の解消は

教委事務局長／実態に応じた対応

問

不登校の児童・生徒は年々増加傾向にある。

不登校を社会の損失として捉え、家庭との協力を得ながら多様な問題に取り組むことが必要である。

不登校の解消に向け、実態把握に基づく改善への基本的な考え方と現況は。

教委事務局長

落ち着いた学校分ける授業、学ぶ喜びや認められる集団個々の実態に応じた対応が基本であり、町の不登校の児童・生徒は横ばいの傾向である。

問

不登校児童・生徒の実態調査で、

早期に対応することが重要である。

どのような事柄を予兆として捉え、把握しているのか。

教委事務局長

表情の変化、やる気の低下、急な成績不振、落ち着かない行動、けがや傷の有無

体調不良、食欲不振、全身の倦怠感、目まいなど多岐にわたる。

問

思春期を抱えた児童・生徒に対する改善方法は。

教委事務局長

現在、不安や対人関係を築くことが苦手ということなど発達障害によるものや、本人の精神疾患、また朝起きられない症状の起立性調節障害などの病気によるもの、家族の精神疾患などの家庭環境の不安定さによるもの、また保護者の教育への無関心によるものなど、本人を学校に連れてくるだけでは解決しない状況が見られるようになった。

町役場の健康福祉課や保健所、児童相談所、また病院など、専門機関や関係機関と密接に連携しながら解決への努力をしている。

問

教育の目的の一つに、児童・生徒の将来に向けた社会的自立がある。

社会への適応に困難を抱える児童・生徒を含め、進路の指導や相談をどのように行っているのか。

教委事務局長

本人の状況や学力、将来について学校は子供と保護者と面談・相談し、具体的な支援を行っている。

問

家族支援や親支援には、どのような関わっているのか。

教委事務局長

養育とは、子どもたちの生活について社会通念上必要とされる監督、保護を行っている状態のことと捉えている。

その力が低い家庭に対しては、子育てをサポートしてくれる様々な関係機関との連携や支援が必要となる。

今後、学校やスクールソーシャルワーカーなどの関係機関と緊密に連

携し、児童・生徒のサポートや進路先の相談などを丁寧に行っていくたい。保護者から教育委員会へ様々な相談がある。保護者の不安を受け止め、子どもにとっての

ような方法が望ましいか一緒に考えながら家庭支援、また親支援をしたい。



元気に遊ぶ子どもたち(西小学校)

進学祝い金、良い話では

教育長／町長も私も断る考え

問

東京の3つの国立大学（東大、一橋大、東工大）の学生を対象として50年間続いた「国土育英会」奨学金の支給を受けた人たちが構成する親睦会（礎会）から、科学振興仁科財団に30万円寄附するので、町内の中学卒業生の中から毎年1人を選んで、進学祝い金2万円を贈って欲しい、それにより科学少年少女育成の一助にして欲しいとの申出があったことについて、昨年12月議会では、教育長から「町長は、公正公平に1人を選ぶことができないので、断る考えだ。」との回答があった。

町長の考えは、今でも変わっていないか。

教育長

町長も私も、変わっていない。

問

勉学の励みになる非常に良い話ではないか。

仁科財団の理事会・評議員会に諮る考えは、

今までも今後もない。

教育長

問

有志が趣旨を生かす団体を別途創ることは、どうか。

教育長

中身が分からない。答は控える。

問

学校の協力が必要だがどうか。学校へ単に頼んだらオーケーと

教育長

いうことではない。

安全策なければ撤去できない

農林建設課長／公安委員会の考え方がある



仁科 英磨 議員

問

進展しておらず、残念。

必要な場合には信号機を設置しなければならないと、道路交通法に書いてある。

また、通達「信号機設置の指針」では、誤認のおそれがなく、交通の円滑に支障を及ぼさないと認める場合は、150mという要件はない、間隔は短くてもいいとある。撤去の場合は、他の対策で代替が可能かどうかを考慮せよともある。

だから、安全を確保するために、他の対策がなければ、そのまま置いておくとされているように理解されるが、どうか。

農林建設課長

公安委員会は公安委員会として

問

町はどう考えているのか。

私は、見間違いない、あった方が交通の流れも円滑になる場合、どんなに近くてもいいということになっており、しかもこれは丁度ここに当てはまると思っている。

町長

公安委員会の判断がまずは優先されるのではと考える。

問

では、笠岡駅前と西側の県道笠岡井原線で、それぞれ2つ重なる信号機があるが、それらの間隔などは、

農林建設課長

前者は、間隔は約70mで、押し

ボタン式と定周期式信号。後者は、約50m、連動式。

問

それでも問題ないか。

代替手段の安全性が完全に確認されるまでは、残しておくべきだ。

役場が立ち上がらないなら、住民・利用者が立ち上がらざるを得ない。再答弁を。

町長

地域住民の人を含めて、全体的な交通安全と交通渋滞の解消を図っていく必要があると考えている。

公安委員会と協議をしつつ進め、最善の方法を検討した上で、また相談させていただきたい。

その他の質問

Q 本村から土井、林を通って備南街道に抜ける都市計画ルートの早急な検討を。

A 今は考えていない。

Q マイナカードと健康保険証や運転免許証の一体化には反対しては。

A デジタル化とカードの一体化は、別の話だ。A デジタル化の中、課題を解決し進めて欲しい。

田辺 博樹 議員



地方自治法第94条について考える

総務課長／適用する状況にないと認識

問

地方自治法第94条に「町村は議

会を置かず、選挙権を有する者の総会を設けることができる」と規定しています。

95条では「前条の規定による町村総会に関しては、町村の議会に関する規定を準用する」とあります。即ち条文によりますと議会とほぼ同じ権限が与えられるものと考えます。

ひとたび町民が望めば日本国中どこにも成し遂げられていない総会もできないことではないと思われませんが、これを実行するためにはどのような手順、手続きを要するのか、お尋ねいたします。

総務課長

総会に関しては89条の例外規定として設けられています。里庄町においてはそれを適用する状況にないと認識しています。

問

日本は同調圧力の強い国、しかし私達里庄のような小さな町が、合併もせず生きて行こうとするのであれば、何かよそとは違うものを打ち出していかなければと思います。

総会という制度、町民の町民による町民のための政治。町民が望めば、有権者の大多数が望めば何もできないことはない。それが民主主義だと考えます。そういう状況になったとき、それを阻止するものはありますか。

総務課長

直接民主制そのものの制度は決して否定するものではありませんが、もっと違った形で今の間接民主制度これを基に考えていく方が現実的ではないかと考えます。

都市計画の線引きに強制力は

まち整備課長／用途地域制度を適用すれば

問

今現在小規模団地が方々で開発されておりますが、いわゆる虫食い状態になりかねません。将来この地区は工業団地にとりか、中心地で幹線道沿いで商業地区にと計画しても、もうそのためのまとまった土

地がないということになりかねませんか。そうならないため線引きして、それに強制力を持たせることは現実として可能なのかどうですか。

まち整備課長

都市計画制度のなかで用途地域というものがあ

これを適用した場合、例えば住居専用地域では基本的には工場や倉庫が建てられないなどの、建築物の用途に制限がかかる。そのような制度はあります。

コロナワクチン副作用死の実態は

健康福祉課参事／国の審査結果は未回答

問

コロナワクチンの副作用またはその疑いが考えられる症状による町内の死亡者数について町当局は把握していますか。

健康福祉課参事

予防接種法に基づき救済制度が設けられており、死亡一時金の請求が一件あり、現時点で国の審査結果は未回答となっております。

問

町内でそのような副作用の死亡例で遺体解剖されたものはありますか。健康福祉課参事 詳細な事項については把握できておりません。

带状疱疹ワクチン

接種費用の助成を

町長／しっかり研究していきたい



難波 啓祐 議員

問

带状疱疹ワクチンは、過去に水疱瘡に罹患した人が加齢、疲労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し、発症するものである。症状は、ひどい場合は針で刺されたような痛みや焼けるような痛みがあるようだ。

50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれている。現在は任意接種の位置づけであるが、費用が高額で接種をあきらめる高齢者も少なくないようだ。

この予防接種は、症状を完全に防ぐものではないが、発症しても軽症で済み、後遺症の予防につ

ながるとされている。町民の健康を守るため、この予防ワクチンへの公費助成を実施する自治体が増えてきていることが報じられている。

これらのことをふまえて、町長のワクチン助成に対する考えは。

町長

私も带状疱疹のワクチンが開発

されて、任意接種ではあるが接種が始まっているというのは、この質問を受けて初めて知った。このワクチンには2種類あ

って、いずれも効果があるということも文献のほうに出ていた。

先ほど言われたように後遺症が問題である。

失明したり、難聴になったりする可能性もある

ということとそれらを予防するものである。

このウイルスは、すでに自分の中にある水疱瘡のウイルスが体力が落ちた時に何らかの状況によって発症して体に悪影響を及ぼすということでは

かの予防接種とは違うが、その費用と、それに掛かる医療費が問題になる。

50歳から80歳までに3人に1人が発症するとい

うことを鑑みると非常に研究していく必要があるのかと思う。実際に県内の自治体でも実施しているところがあるので、予算などのことも考えながら、研究していきたいと思

う。

問

本町で助成をするにあたって何か課題はあるか。

町長

他の自治体の補助率をみるとだいたい半額を助成しているところが多い。

8000円だったなら4000円、2万2000円だったなら2回しないといけないので1回分の2万2000円くらいを補助している自治体が多い。

実際予算規模でどのくらいになるかが1番慎重に検討しなければなら

ない。

これについては議員に相談し、決めていく必要があると思うので、しっかり研究していきたい。

問

ドローンの活用事例として、農業分野では育成状況の確認、鳥獣関係では生息数の確認など広く浸透して

きている。

イベントにおいても安全確認など様々な場面での活用が想定されている。また、災害時の状況把握、避難者の捜索時に時間短縮になったという結果が出ている。

特に避難拠点に配置すれば、付近の状況確認、

連絡手段、軽量な物資の輸送に使える。

ドローンの操縦については、日常業務であれば職員が行うことが望ましいと考えるが、どうか。

総務課長

状況や運行する場所にもよるが、職員が操縦するほうが良い場合もある。現在、里庄町では農林建設課で200グラム未満のドローンを1台所有しており、

ため池の状況、工事個所の全景確認などを日常業務で活用している。

問

非常時に対応するためのことで、住民自ら操縦して情報収集を行うことで、より早い救助や支援ができるようになるのではないか。

総務課長

操縦資格や平常時の連携体制などが課題としてあげられる。現在は、笠岡地区消防組合による協力で対応している。

今後先進事例を確認して研究していきたい。

行政における ドローンの活用を

総務課長／研究していきたい

仁科千鶴子
議員



公園がない なぜ幼稚園は駄目

教育委員会事務局参事／危険性が排除できない

問

どの分館にも公園があるのか。ない分館から要望はないのか。

教委事務局参事

全部で37か所あるが、分館によっては2か所あるところがあるが、無い分館もある。

正式な要望は出ていないが、現在相談を受けている分館がある。

問

遊ぶときは小学校に行つて遊べるので、公園がないのだと聞いているが、本当か。

教委事務局参事

小学校の校庭で下校後学校へ行って遊ぶというケースはある。ただいろいろな人が校庭を使つていいというものではない。

問

近くに公園がない。幼稚園は駄目といわれた。なぜか。

教委事務局参事

幼稚園の園庭利用について地域から意見・相談を受けている。

問

公園の維持管理の条件は。

教委事務局参事

低木類の剪定あるいは除草作業は分館。大きな木の剪定、伐倒、遊具施設、休憩施設等は行政管理。

問

埋立地を最初は駐車場に、10年後宅地化にする考えは。

町長

一番有効な方法を考える。ただ、宅地造成をして販売することは、現時点考えていない。

問

川南の国道2号線沿いに、池の埋立地があるが、公園ができるのか。

農林建設課長

具体的なことは決まっていない。地元住民と調整を図り、維持管理も含め用途を検討していく。



あふれるパワー

産休・育休の優先順位を

健康福祉課参事／就労・疾病・障害を優先

障害を優先

毎年、「保育園にはいるかなあ」と保護者の話題となる。募集は11月1日から11月30日まで。

問

保育園の入園条件点数の基準は基本指数と調整指数があるが何か。

健康福祉課参事

基本指数とは、就労、妊娠、出産、障害、育児休暇など10項目。

調整指数は、世帯状況、児童状況、就労状況など20項目。加点や減点の調整をするための点数。

問

同点の場合はどうなるのか。所得の低い方を優先する。

健康福祉課参事

産休・育休を取ると、すぐ切られる。2子、3子を年近

くで出産した場合や、双子出産は加点として、優先順位を変えてみてはどうか。

問

育休中よりも就労、疾病、傷害等を優先せざるを得ない。保護者の人の保育ニーズに因應する必要がある。その為にも保育士確保に努める。

健康福祉課参事

問

こども誰でも通園制度が2024年4月から実施。今までの加点、減点でいいのか。

健康福祉課参事

こども誰でも通園制度は現行の保育給付制度とは別枠で想定している。来々4月の募集に関して、点数を変える必要はない。国の動向をしつかり注視していく。

シリーズ こんな活動 しています!

第12回

里庄町文化協会

陶芸部

里庄町文化協会陶芸部は、町設置の大型と小型の灯油窯を活用して制作活動を行っており、文化協会以外の虚空蔵大学の陶芸教室と一緒に活動をしています。

制作は、中央公民館の工芸室を使用しています。基準日として、月の内の第二日曜日を作品制作と窯焚き日に定め、基準日前の金曜日に窯焚準備日とし、基準日後の水曜日に窯出しと作品の評価日として、月3回の活動を実施しています。

釉薬においても、勉強して多様な色を再現し、作品も見違えるようになり、活気が出たことが一因となっています。

部内の融和と見聞を図るために、現在は一時的に中断しているが近隣の陶芸産地や窯元の見学を実施することや、活動の合間に抹茶茶碗の評価の一例である一楽・二秋・三唐津の楽茶碗を活動の合間に有志が作り、制作茶碗でお茶会を時々開催し楽しく過ごしています。

また、我々も文化協会の一員として文化協会の発展に寄与するように、各種イベントへの参加や陶芸部自体の作品展を通じて、物作りの楽しさを伝えることができるように頑張っています。



《第114号》

令和5年10月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●あとかぎ

万里一空

空が澄み清々しい秋を感じる頃となりましたが、急な気温の変化で体調など崩されていないでしょうか。

9月に広報委員会は東京へ広報紙の研修に参加しました。

これからの紙面がさらに良くなるよう全員で取組んでいきますので、ご愛読をお願いします。



(岡本)

編集委員 委員長: 佐藤耕三 副委員長: 岡本貴之
委員: 仁科千鶴子 委員: 田辺博樹 委員: 難波啓祐

令和5年12月定例会は、12月1日(金)から始まる予定です。